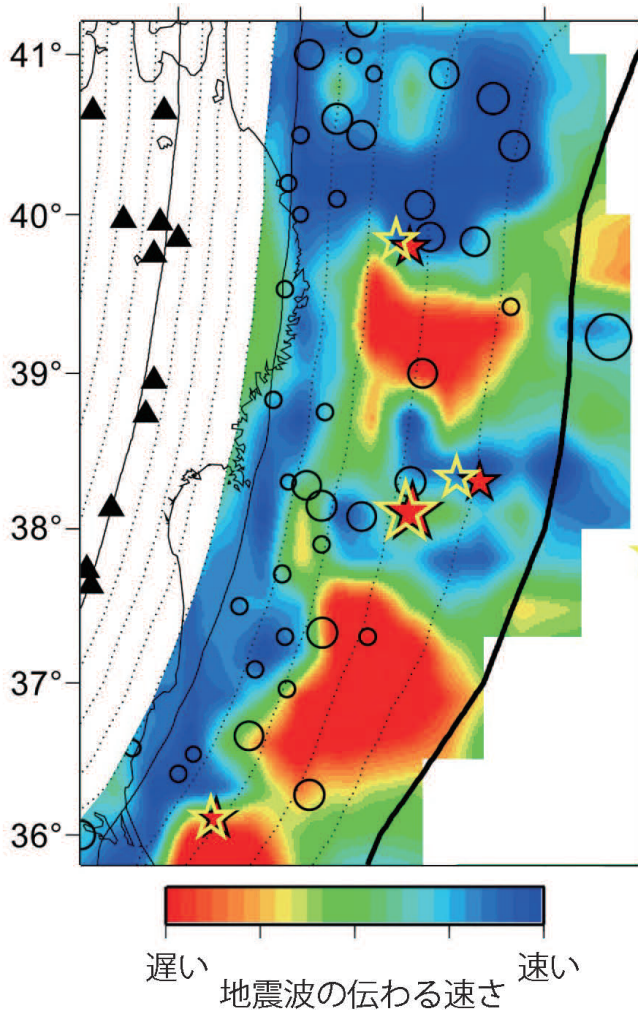


# 「地震波トモグラフィーで地球の中の写真を撮る」

講師：趙大鵬教授（地震・噴火予知研究観測センター）

日時：2016年7月27日 10:45-11:45

会場：理学部大講義室



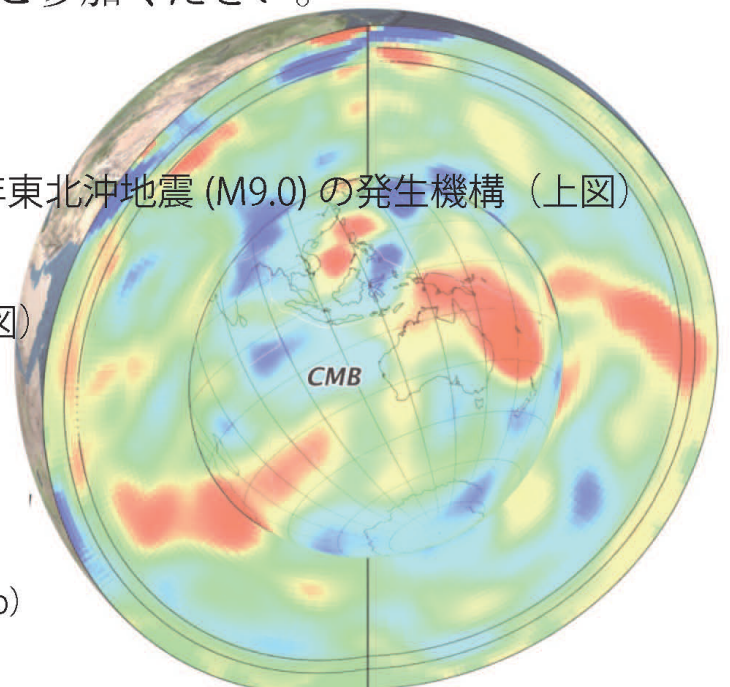
地震波トモグラフィーとは、地震のビッグデータを解析して、地球内部の地震波の伝わり方を三次元的に明らかにする手法です。これにより私たちは、あたかも写真に撮ったかのように地球内部の様子をありありと目にすることができます。地震波トモグラフィーは、地球内部の三次元構造を探るための最も有力な手法であるといっても過言ではありません。

体験授業では、地震波トモグラフィーの分野で世界トップの研究グループを率いる趙教授が、地震波トモグラフィーの基礎から最近の研究成果までをわかりやすく紹介します。

事前申し込みは不要ですので、ふるってご参加ください。

体験授業で紹介する最近の研究成果

- ・東北地方太平洋沖の詳細構造と2011年東北沖地震(M9.0)の発生機構（上図）
- ・日本列島の火山下の深部微細構造
- ・全地球内部の構造とダイナミクス（右図）
- ・月の内部構造と月震



問合せ先：地震・噴火予知研究観測センター

矢部康男 (yasuo.yabe.e2@tohoku.ac.jp)